

【参考資料3】

第5回社会保障審議会「疾病、傷害
及び死因分類」専門委員会 資料

WHO-FIC トリエステ会議について

- 主 催： WHO、WHO-FIC イタリア協力センター共催
開催期間： 平成19年10月28日(日)～11月3日(土)
会 場： イタリア国フリウーリ＝ヴェネツィア・ジュリア州トリエステ市
Plalazzo dei Congressi (議会堂)
参 加 者： WHO、協力センター10カ所、厚生、統計関係部局、オブザーバー等27カ国
168名が参加

主な議題について：

(1) ICD-11 改訂及び改訂運営会議(RSG)からの進捗状況報告

- * ICD revision の方向性及び最終イメージについて RSG シュート議長より提示
- * 各 TAG のチェアより改訂の現状報告
 - ・ 精神(2007年1月に第一回会合を開催。改訂に関するペーパーを準備中。)
 - ・ 希な疾患(Orphanet のデータベースとICDをリンク。第17章を担当。)
 - ・ 外因(ICECI等の分類との整合性を図る。改訂に関するペーパーを作成。)
 - ・ 内科(担当範囲の検討とWGの準備。)
 - ・ 腫瘍(IARC等と協調。ICD-O等の既存の分類の考え方を導入。)
 - ・ その他(感染症、歯科、眼科、産科、小児科領域等の専門家とコンタクト。)

(2) ICF 活用の新しい展開についての報告

- * ICF-CYに関するベニス会議の報告
- * ICFにおけるターミノロジーの開発など

(3) 各種委員会報告

● 企画実行委員会(Planning Committee)

1) planning committee から council(仮称)へ組織が変更(詳細未定)

- * council のメンバーは以下のとおり
 - ・ WHO 担当官(地域事務局を含む)

- ・各委員会及びレファレンスグループのチェア (RSG のチェアを含む)
- ・協力センター長 (申請中も含む)

- * 初代 council (仮称) のチェアを選出 (任期 2 年)
- ・マハティ・ベトナム氏 (ノルディックセンター長)
- ・マージョリー・グリーンバーグ女史 (北米センター長)

2) annual meeting (年次会議) から assembly (仮称) へ組織を変更 (詳細未定)

- * assembly (仮称) の参加資格 (WHO 担当官以外)
- ・協力センターからの代表
- ・WHO と公式な関係を有する NGO からの代表
- ・WHO 本部が参加を認めた WHO 加盟国からの代表 (日本はここに該当することになる)

● 普及委員会 (Implementation Committee (IC))

- * 第 2 回アジア・パシフィックネットワーク京都会議について報告
- * アジア・パシフィック地域以外の地域の情報の共有化、連携の可能性についての検討

● 分類改正改訂委員会 (Updating and Revision Committee (URC))

- * ICD の改正について 125 議題について審議;
- ・89 提案受け入れ

● 教育委員会 (Education Committee (EC))

- * 死因コーディング認定プログラムの完成
- * 疾病コーディング認定プログラム作業の開発

● 電子媒体委員会 (Electronic Tools Committee (ETC))

- * ICD メンテナンスツールの改訂作業
- * ICD-11 改訂作業ツールの開発

● 国際分類ファミリー拡張委員会 (Family Development Committee (FDC))

- * 看護の国際分類 (International Classification of Nursing Practice (ICNP)) (仮称) の国際分類ファミリーへの加入 (関連分類) を勧告
- * 伝統医学 (Traditional Medicine) の国際分類ファミリーへの加入 (関連分類) を検討

- 死因分類改正グループ(Mortality Reference Group (MRG))
 - * 死因分類に関する 50 議題を議論；
 - ・15 合意(URC へ提出)
 - ・ 5 要点合意(修正ののち URC へ提出)
 - * RSG への参加(共同議長のオブザーバー参加を提案)

- 疾病分類グループ(Morbidity Reference Group (MbRG))
 - * 疾病分類について 12 提案を URC へ提出
 - * 共同議長の交代(R.マッデン氏から K.アイネス氏へ)

- ターミノロジーグループ(Terminology Reference Group (TRG))
 - * WHO-FIC と IHTSDO の連携について議論
 - * 分類とのマッピング作業を検討

- 生活機能分類グループ(Functioning and Disability Reference Group (FDRG))

(基準、改正、ICD との調和、測定と活用、教育、倫理、環境因子、ターミノロジーに関する 8 つのプログラムにより構成)

 - * 改正のサイクルを提案
 - * オントロジーの作成を検討

- URC、MRG、MbRG 合同会議
 - * 大改正(Major update)は、当初予定の 2009 年から 2010 年に延期。小改正(Minor update)は 2012 年まで実施
 - * MRG の共同議長が、RSG にオブザーバー参加することを WHO 事務局に提案

次年度開催予定:平成 20 年 10 月 26 日(日)~11 月 1 日(土)インド